

政府筋動向

2025年 1月21日

社)SCCCリアルタイム経営推進協議会

兼子 邦彦

- 1. 中企庁金融課の活動**
- 2. QRコード伝票の標準化**

1. 中企庁金融課の活動

円滑な事業再生等に向けた モニタリングの高度化に関する研究会 第2回 事務局説明資料

2025年1月14日

中小企業庁 事業環境部 金融課

倒産を予測して未然に防ぐ！

(参考) 倒産予測値の概要 (帝国データバンク)

- 株式会社帝国データバンクでは事業者の予兆管理の手法として、当社が保有する「信用調査報告書」や「企業概要ファイル (COSMOS2)」を始め、日々入手した変動情報を用いた統計モデルによって、個社が今後1年以内に倒産する確率を日次で算出する「倒産予測値」を構築している。

予測値グレード別算出企業数と倒産発生率

予測値グレード別算出企業数と倒産発生率[CCRモデル]



(出典) 株式会社帝国データバンク 提供

予測値グレードの主な変動要因

予測値の算出に用いる項目例は以下の通りである。ポジティブな情報であればグレードは低下し、ネガティブであれば上昇する。なお、算出方法により使用項目は異なる。

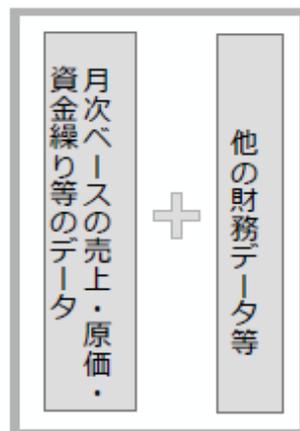
| 使用項目例 | 内容 |
|---------|---|
| 変動情報 | 日々入手した事業者の各種情報、または変動情報からの期間経過 |
| 信用調査報告書 | 資金繰り、自己資本、グループ系列、経営者人物像、経営者評価、担保設定状況 |
| 照会状況 | 特定業界からの照会回数 |
| 倒産実績 | 業種別倒産実績 |
| 財務指標 | 総資本経常利益率、売上高金利負担率、売上高営業外費用率、現預金手持日数、買入債務回転期間、棚卸資産回転期間 ※業界により用いる指標は異なる。 |

その為には中小企業のDX/IT化が必要！

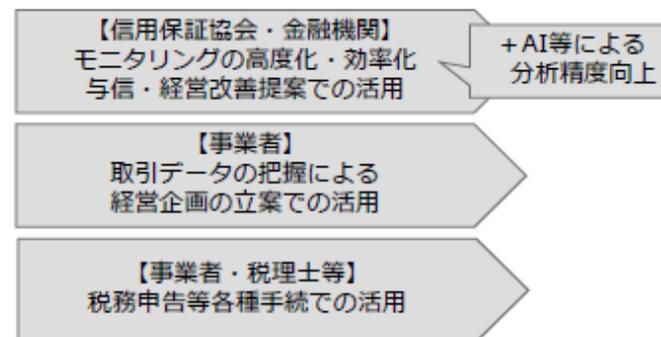
中小企業向け金融におけるDX/IT化

- 中小企業のモニタリング（特に保証付融資先の事業者）における課題の一つは、月次ベースの売上高や原価、資金繰りなど、適時に経営状況の判定を可能とする情報が生成されておらず、信用保証協会・金融機関等におけるモニタリングにおいても、基本的には年次の財務情報ベース等での把握に止まること。
- これらを改善し、経営上のデータの見える化とモニタリングの実効性確保を実現するためには、データを生成する事業者側と、データを利用する金融側のDX/IT化が両輪で進む必要がある。

企業データ生成（例）

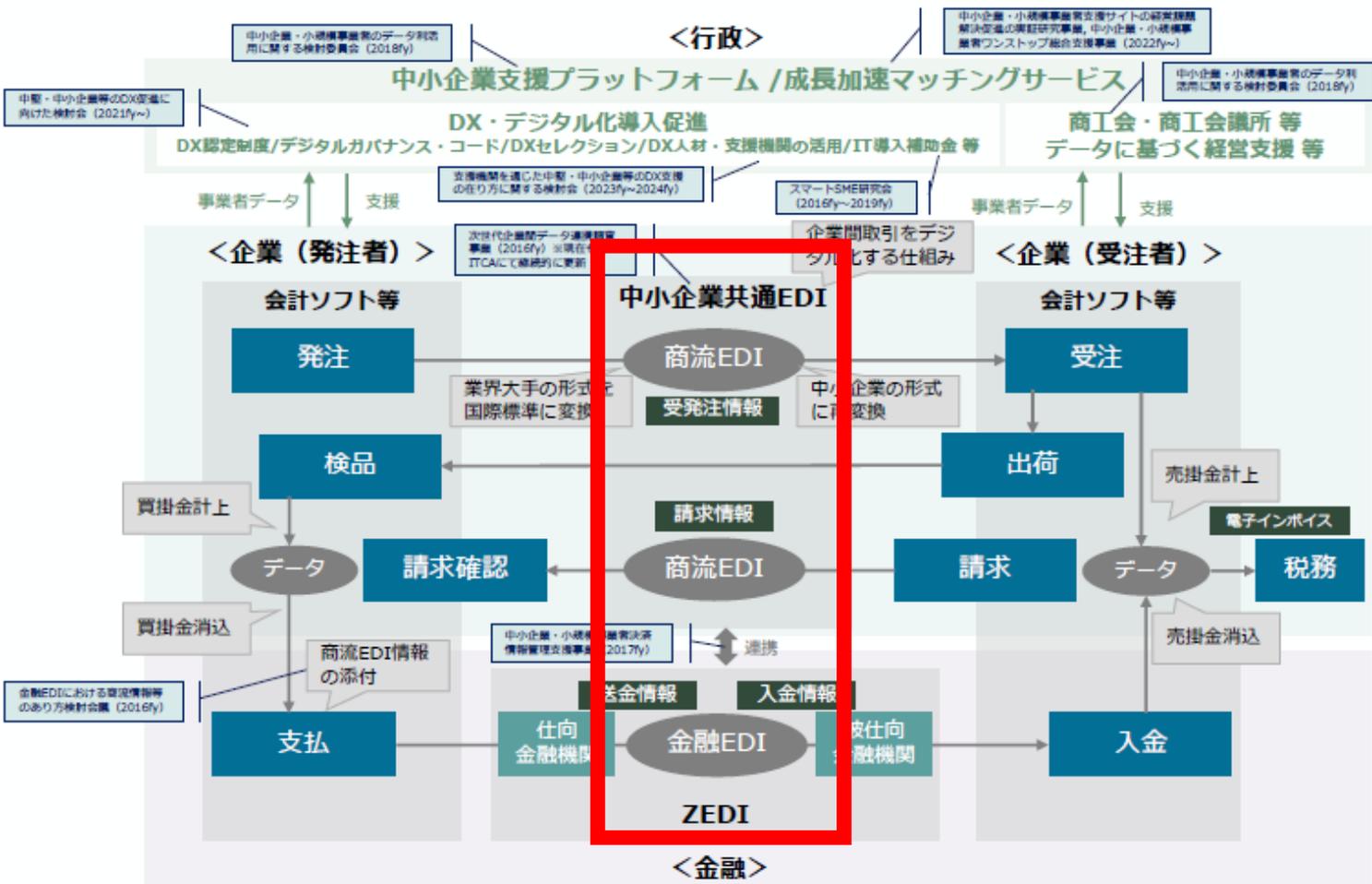


データ活用（例）

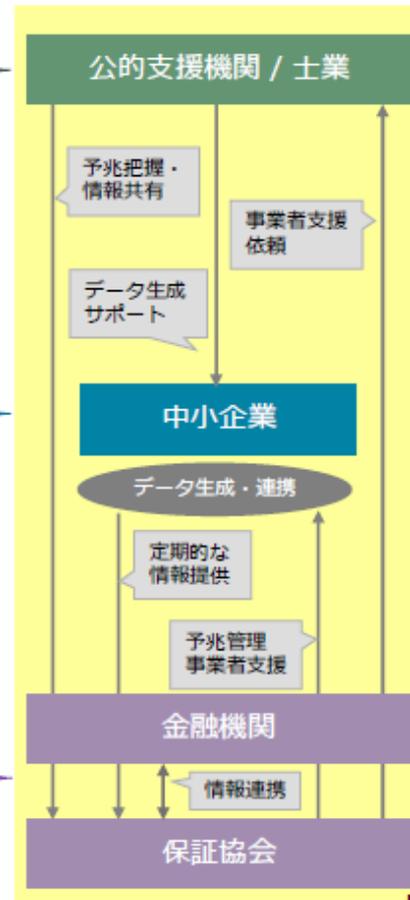


受発注から請求・支払・入金 (EDI)

(参考) データ連携・活用を巡る経済産業省での議論概観



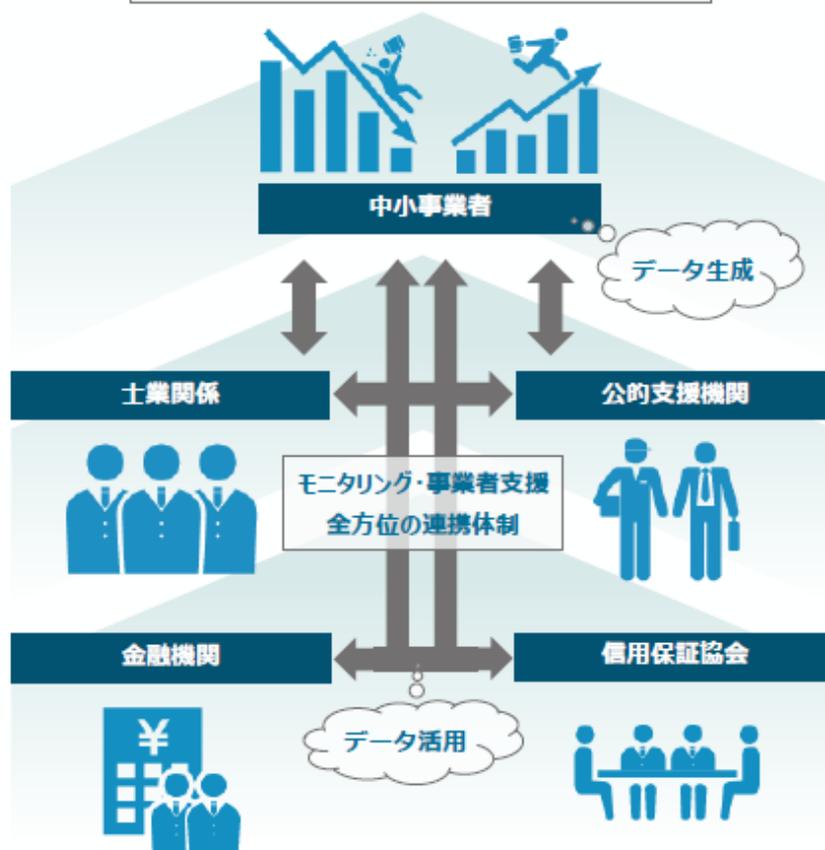
本研究会での議論
データ活用側（金融）から見た
データ連携の在り方



研究会で「モニタリング」を議論

(参考) 本研究会における議論の流れ (案)

筋肉質な経営、早期の収益力改善・再生・再チャレンジ



1. 中小企業金融を巡る状況

第1回

- (1) 足元における中小企業を巡る経済金融情勢の変化
- (2) 信用保証協会・地域金融機関における状況変化
- (3) 中小企業活性化協議会等の再生フェーズにおける状況変化

2. モニタリングの現在地

第1回

- (1) 信用保証協会における取組と課題
- (2) 地域金融機関における取組と課題
- (3) タイムリーかつ効果的なモニタリングの実現に向けた課題・対応

3. モニタリングの高度化

第2回

第3回

- (1) 事業者の経営改善や事業者への支援等におけるデータ活用の重要性
- (2) 円滑な事業者支援に向けたデータ連携の仕組み
- (3) データ連携・活用に基づくモニタリングや事業者支援の取組と課題

4. 今後の対応に向けて

第4回

- (1) 既存リソースを活用した対応の方向性
- (2) 中長期での理想図に向けた対応の方向性

※議論状況に応じて変更の可能性あり。 17

中企庁金融課(上田大晃課長補佐)へ提案

倒産リスクは**零細企業**の方が大きい！

中小企業約380万社全てに「**中小企業
共通EDI**」の導入は不可能！

零細企業でも**QR伝票「品番・数量・単価・
金額・納期」**で「**予兆管理(受注実績)**」が
可能！

2. QRコード伝票の標準化

2019年：岸田先生と「QRコード請求書」をPR

- ・日本商工会議所（インボイス反対）
- ・経済産業省：産業資金課
- ・日本銀行
- ・流通システム開発センター（インボイス反対）
- ・財務省
- ・キャッシュレス推進協議会（BtoC）
- ・経済産業省：中小企業庁（意見交換会）
- ・ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）
- ・経済産業省物流企画室
- ・日本税理士会（インボイス反対）
- ・国会議員 ……等

この「QRコード請求書」で説明

適格請求書等にQRコードを付加する例

請求書

法人番号 7987654321012
〒

御中



2017年10月25日 No.1710511

事業者番号 1234567890
法人番号 7123456789012
株式会社 八尾鉄〇〇
住所461 名古屋市東区
TEL: 052-931-0000 / FAX: 052-931-0000
担当: 大谷蒼海

| 品番・品名 | 数量 | 単位 | 単価 | 税率 | 金額 | 備考 |
|-------|----|----|--------|----|--------------|------------|
| ES521 | 1 | 本 | 10,000 | 10 | 11,000 | |
| BB421 | 10 | 本 | 200 | N8 | 2,160 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 税込合計額 | | | | | 13,160 | うち税額 1,160 |
| | | | | | N8%合計 2,160 | うち税額 160 |
| | | | | | 10%合計 11,000 | うち税額 1,000 |

①日本商工会議所



日商について

日商、それは
企業と地域の応援団です。

日商は全国の商工会議所が円滑に活動できるよう総合調整し、意見を代表して公に伝える団体です。企業や地域を最前線で支援するのが全国の商工会議所だとすると、日商はそれを後方から支援しています。

インボイスに反対なので、その対応策
「QRコード請求書」には協力出来ない！

②流通システム開発センター(GS1 Japan)

The slide features a background of a globe with a blue and green color scheme. In the top left, there is a circular inset showing a hand scanning a barcode on a white plastic bag. In the bottom left, there is a circular inset showing several green apples with white labels. In the bottom right, there is a circular inset showing a warehouse aisle with high shelves and a person in a red uniform. The text is centered on a dark blue horizontal band.

GS1 Japanの理念

GS1 Japanは社会の共通プラットフォームとしてのコードやルールの“標準化”を通じて、安心・便利な未来に貢献します。

- モノや場所などを特定し、その情報を取得・共有できる“標準”を開発し普及に努めます。
- “標準”を利用した効率的な情報連携の仕組みづくりを支援します。
- これらの活動を通じて、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。

日本商工会議所と同様に、**インボイスに反対**なので、その対応策には協力出来ない！

現在、検討は可能であるが**費用が発生する**！

②モノやコトの捕捉（データキャリア）

※シンボル見本は実寸法ではありません

JANシンボル



ITFシンボル



GS1-128シンボル



GS1データバー標準型



GS1データバー拡張多層型



GS1データバー標準二層型

GS1データバー合成シンボル

GS1 QRコード



GS1データマトリックス



電子タグ



③キャッシュレス推進協議会

The logo for JPQR (Japan Payment QR) features the letters 'JPQR' in a bold, black, sans-serif font. A small red circle is positioned at the bottom right of the letter 'R'.

コード決済に関する統一技術仕様ガイドライン

【店舗提示型】

MPM(Merchant-Presented Mode)

一般社団法人キャッシュレス推進協議会

Ver. 1.1

2019年3月29日

BtoC用(キャッシュレス決済用)

BtoB用は未定。

④経済産業省：中小企業庁（意見交換会）

税関係書類の QR コード印字規格案に関する意見交換

日時：2019年10月9日（水）10:00～

場所：経済産業省別館8階 843会議室

議事（案）

- ① 税関係書類の QR コード印字規格案概要説明（JBMIA）
- ② 中小企業共通 EDI 関連の説明
 - （ア）IT コーディネータ協会（共通 EDI 標準部会）における中小企業共通 EDI 標準への QR コード規格の策定提案について（川内フェロー、15 分）
 - （イ）SCCC・リアルタイム経営推進協議会の説明等（兼子理事長、15 分）

<中小企業共通 EDI 関係者> 9名

- | | |
|-----------------------------|-------|
| ・PCA(株) 取締役相談役 | 水谷 学 |
| ・(一社)SCCC リアルタイム経営推進協議会 理事長 | 兼子 邦彦 |
| ・(株)エクス 常務取締役ソリューション事業本部長 | 稲葉 秀嗣 |
| ・同 サービス事業本部 | 坂本 知彦 |
| ・(株)スマイルワークス 代表取締役社長 | 坂本 恒之 |
| ・(株)グローバルワイズ 代表取締役 | 伊原 栄一 |
| ・NTT データシステム技術株式会社 | 遠城 秀和 |
| ・IT コーディネータ協会 フェロー | 川内 晟宏 |
| ・同 研究員 | 野田 和巳 |

<中小企業庁>

- | | |
|----------------|------|
| ・技術・経営革新課 課長補佐 | 小池 明 |
| ・同 係長 | 丹 貴義 |

⑤ 一般社団法人 ビジネス機械・ 情報システム産業協会 (JBMIA)

 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

[お問い合わせ](#) | [アクセス](#) | [サイトマップ](#)



ホーム JBMIA 統計データ 委員会・部会 Special Contents 刊行物 規格
について サイト (Standards) 🔍

ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、
新しいワークスタイルを提案し、
活力あるグローバル社会を創ります。

**QRコードが大きすぎ利用できない！
現在は、請求書のみとなっている。**

JBMS

国税関係取引書類の検索用QRデータ規格

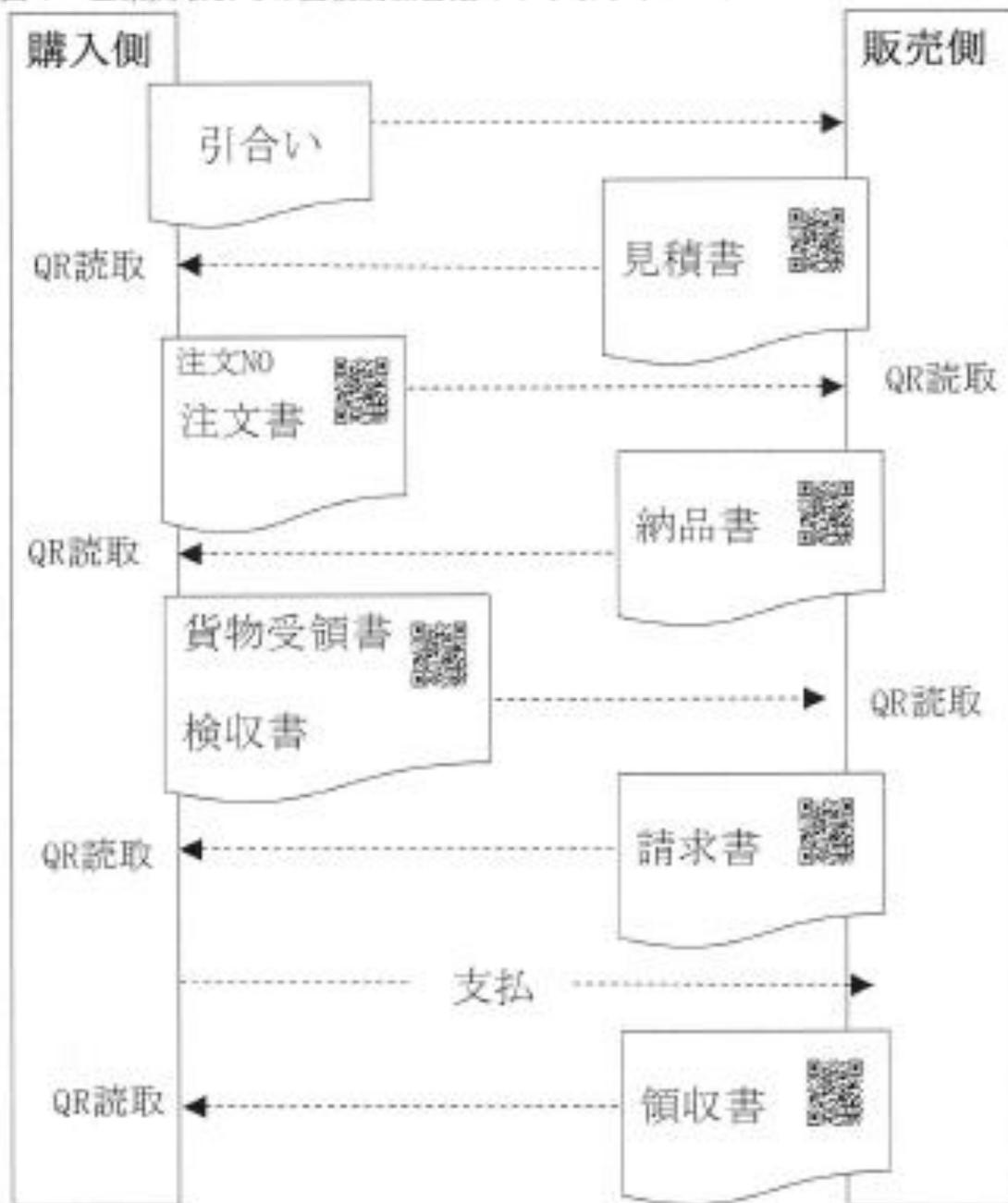
QR data standard for searching national tax related transaction documents

JBMS-89 : 2019

令和元年 10 月制定
(October, 2019)

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

図1-企業間取引での国税関係書類のやり取りイメージ



発行日 2019年10月20日

注文No 1910001

注文書

田町文具株式会社 御中

下記商品を注文いたします。
手配をよろしくお願いたします。一般社団法人
ビジネス機械情報システム産業協会
東京都港区三田 3-4-10
TEL 03-6809-5490
登録No. TBC10401010552**QRコードが大きすぎ利用できない！**

| 品番 | 品名 | 数量 | 金額 | 税率% | 税額 | 税込 |
|---------------|--------|----|-------|-----|-----|---------|
| 0793187400267 | ノート | 10 | 1,000 | 10 | 100 | 1,100 |
| 5112788147053 | ボールペン | 25 | 2,500 | 10 | 250 | 2,750 |
| 4864833312012 | ビニルテープ | 3 | 240 | 10 | 24 | 264 |
| 6912009046248 | ワーカーペン | 3 | 300 | 10 | 30 | 330 |
| 4901991651096 | スタックのり | 10 | 500 | 10 | 50 | 550 |
| 4976501105185 | 飲料水 | 3 | 300 | 8 | 24 | 324 * |
| 4937922990224 | 香蕉 | 5 | 2,000 | 8 | 160 | 2,160 * |
| 合計 | | | 6,840 | | 638 | 7,478 |

*は軽減対象

| | |
|-------|-------------|
| 希望納期 | 2019年10月30日 |
| 納品先 | 別添付定購用 |
| 支払い条件 | 従来通り |

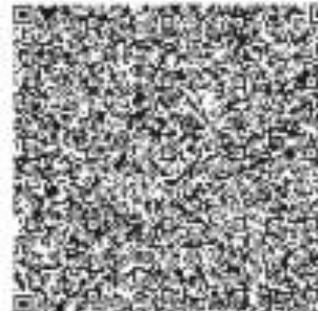


図 7-請求書 1 ページ目

発行日 2019年10月31日
請求No 19100025-1

請求書

一般社団法人
ビジネス機械付帯情報システム社

下記請求いたします。
支払いをよろしくお願いいたします。

田町文具株式会社
東京都港区三田 3-4-5 5 5
TEL 03-1234-5678
登録No T000000000-0000

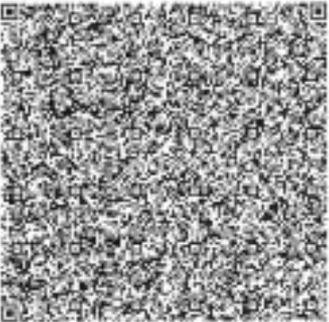
税込合計 22,784円

請求額 20,820円 (10%対象 14,920円 8%対象 5,900円)
消費税 1,964円 (10%対象 1,402円 8%対象 472円)

以下明細 *1軽減対象

| 行No | 品番 | 品名 | 数量 | 金額 | 税率 | 税額 | 税込 |
|-----|---------------|---------|----|-------|----|-----|-------|
| 1 | 0793187400267 | ノートM | 10 | 1,200 | 10 | 120 | 1,320 |
| 2 | 0793187400268 | ノートB5 | 10 | 800 | 10 | 80 | 880 |
| 3 | 0793187400269 | ノートA5 | 10 | 1,000 | 10 | 100 | 1,100 |
| 4 | 793187400265 | ノートB4 | 10 | 1,500 | 10 | 150 | 1,650 |
| 5 | 5112788147053 | ボールペン青 | 25 | 500 | 10 | 50 | 550 |
| 6 | 5112788147054 | ボールペン赤 | 25 | 500 | 10 | 50 | 550 |
| 7 | 5112788147055 | ボールペン黒 | 25 | 500 | 10 | 50 | 550 |
| 8 | 4964833312012 | ビニルテープ白 | 3 | 240 | 10 | 24 | 264 |
| 9 | 4964833312013 | ビニルテープ黒 | 3 | 240 | 10 | 24 | 264 |
| 10 | 4964833312014 | ビニルテープ黄 | 3 | 240 | 10 | 24 | 264 |

明細 2 ページに続く



QRコードが大きすぎ利用できない！

図 8-請求書 2 ページ目

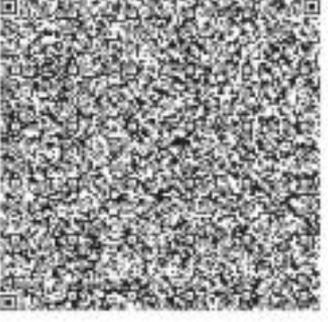
発行日 2019年10月31日
請求No 19100025-2

請求書

以下明細 *1軽減対象

| 行No | 品番 | 品名 | 数量 | 金額 | 税率 | 税額 | 税込 |
|-----|---------------|--------|----|-------|----|-----|-------|
| 11 | 9912009046245 | マーカール青 | 3 | 300 | 10 | 30 | 330 |
| 12 | 9912009046246 | マーカール赤 | 3 | 300 | 10 | 30 | 330 |
| 13 | 9912009046247 | マーカール黒 | 3 | 300 | 10 | 30 | 330 |
| 14 | 4901991651096 | スフィッポ大 | 10 | 800 | 10 | 80 | 880 |
| 15 | 4901991651097 | スフィッポ小 | 10 | 500 | 10 | 50 | 550 |
| 16 | 4976501105185 | 飲料水A | 3 | 300 | 8 | 24 | 324 |
| 17 | 4976501105186 | 飲料水B | 3 | 300 | 8 | 24 | 324 |
| 18 | 4976501105187 | 飲料水C | 3 | 300 | 8 | 24 | 324 |
| 19 | 4937922990224 | 野菜A | 5 | 3,200 | 8 | 240 | 3,240 |
| 20 | 4937922990225 | 野菜B | 5 | 2,000 | 8 | 160 | 2,160 |

以上



JBMS

適格請求書等取引書類の
検索用 QR データ規格

QR data standard for searching transaction documents under the Invoice System

JBMS-91:2022

QR標準は「請求書」のみ！

令和4年11月改正
(Nov. 2022)

QR標準は「請求書」のみ！

| | | |
|------------------|-------------------------------------|--|
| NO 120 | 領 収 証 | 2023年10月1日 |
| A株式会社 | | 様 |
| ¥ 7,700 | |  |
| 上記正に領収いたしました。 | | |
| 内訳 書籍 | 〒108-007 東京都港区三田11111 |  |
| 税抜金額 ¥7,000 | Tel 03-999-9999 (代表) | |
| 消費税額等 (10%) ¥700 | B株式会社 登録番号 T1234567890123 | |

| | |
|---|--------------|
| JBMIA文具 | |
| No.1234567890 2023年10月3日(月) 12時48分 | |
| 領 収 書 | |
| ボールペン 10P | 550 |
| 透けない封筒 長3 100P | 762 |
| 業務用茶葉 1kg※ | 3,480 |
| 収入印紙# ②200×10 | 2,000 |
| ※印は軽減税率対象品目 #印は課税対象外品目 | |
| 課税対象計(外税) | 1,312 |
| 消費税(10%) | 131 |
| 軽減税率対象計(外税) | 3,480 |
| 消費税(8%) | 278 |
| 課税対象外計 | 2,000 |
| 合計 | 7,201 |
| お預かり | 10,201 |
| お釣り | 3,000 |
| レジNo.1 担当: 吉田 連絡登録番号 T1234567890123 | |
|  | |

図 4-レシートの QR インボイス例

請求書

No. 20231001-1
2023年10月01日

A 株式会社 様

東京都港区三田 11111

B 株式会社

Tel. 03-999-9999 (代表)
登録番号 T1234567890123

平素よりお世話になっております。
下記内容をご請求いたします。

10月分ご請求金額 7,660円

請求内訳

| 品名 | 税抜 (円) | 消費税率 (%) | 税額 (円) | 税込 (円) | 控区分 |
|-------|--------|----------|--------|--------|-----|
| 文房具 | 5,000 | 10 | 500 | 5,500 | |
| 食品 | 2,000 | 8 | 160 | 2,160 | 軽減 |
| ご請求金額 | 7,000 | | 660 | 7,660 | |

備考

見積 NO. 20000001

振込先

〇〇銀行 三田支店 普通 0000000



その後の活動

① IPA/DADC

「契約決済プロジェクト」

(リファレンスモデルに「QRコード読込」を追加)

2022年5月

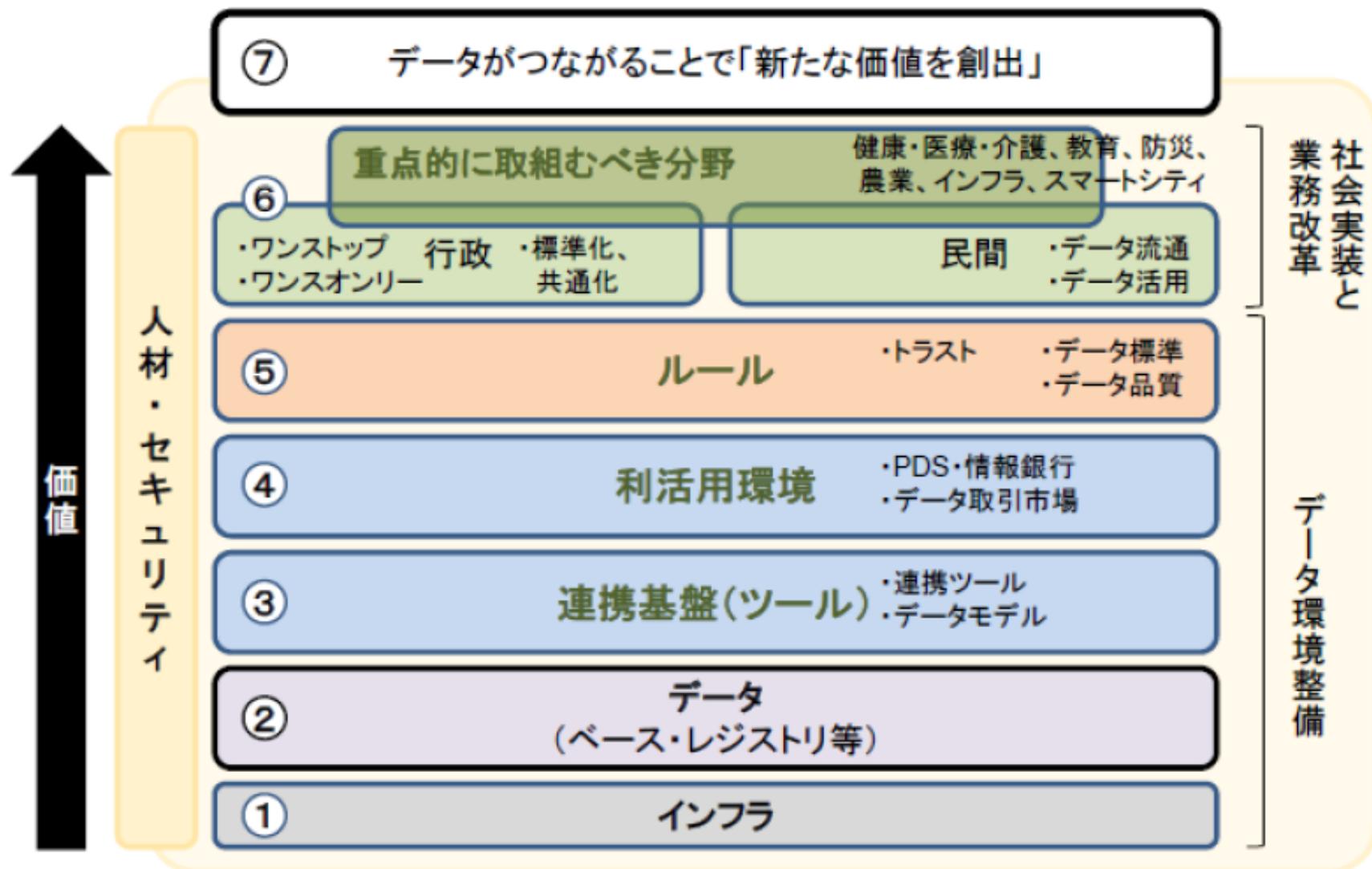
ビッグデータそしてシステムの連携で築く、新しい社会の
設計図を。

デジタルアーキテクチャ・デザイ ンセンター

Digital Architecture Design Center

データとデジタル技術でつながる、豊かな未来
を確かなものに。

包括的データ戦略におけるアーキテクチャ



DADC/経産省/SCCC協議会合同会議を開催

2022年2月18日(金)15時～16時

大久保 DADC 契約・決済プロジェクト マネージャ
勅田 DADC 契約・決済プロジェクト リーダ
田澤 経済産業省情報経済課 係長 等

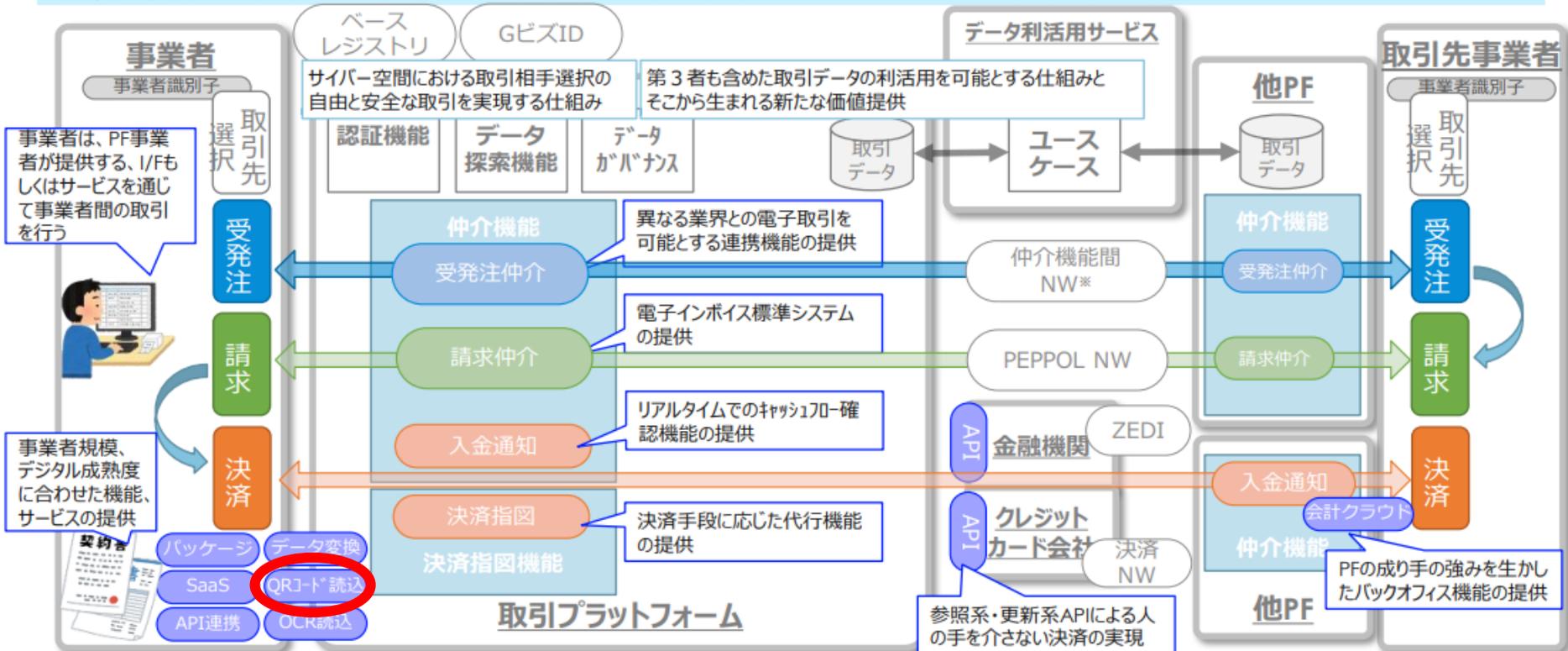
河田 信 SCCC協議会 副理事長
岸田賢次 SCCC協議会 理事(岸田方式開発)
野村政弘 SCCC協議会 相談員(QRコード開発)
伊原栄一 SCCC協議会 理事(EDI方式開発)
兼子邦彦 SCCC協議会 理事長 等

仮想的な次世代取引基盤構築に係る リファレンスアーキテクチャ (IPA-DADC 契約・決済プロジェクト成果物経過報告)

独立行政法人情報処理推進機構
デジタルアーキテクチャ・デザインセンター
契約・決済プロジェクト
2022年5月

次世代取引基盤イメージ

検討会にて示したデジタル化のレベル感における“取引データ利活用等”の実現を踏まえ、“データ連携可能な取引”にて必要となる次世代取引基盤のイメージは以下の通り。



(資料) IPA-DADC作成

Copyright © 2022 IPA

SCCC協議会から「DADC」へ提案し、リファレンスモデルに「QRコード読込」が追加された。

② デジタル庁

テクノロジーベースの規制改革

(テクノロジーマップに「QRコード」を追加)

2024年2月 6日

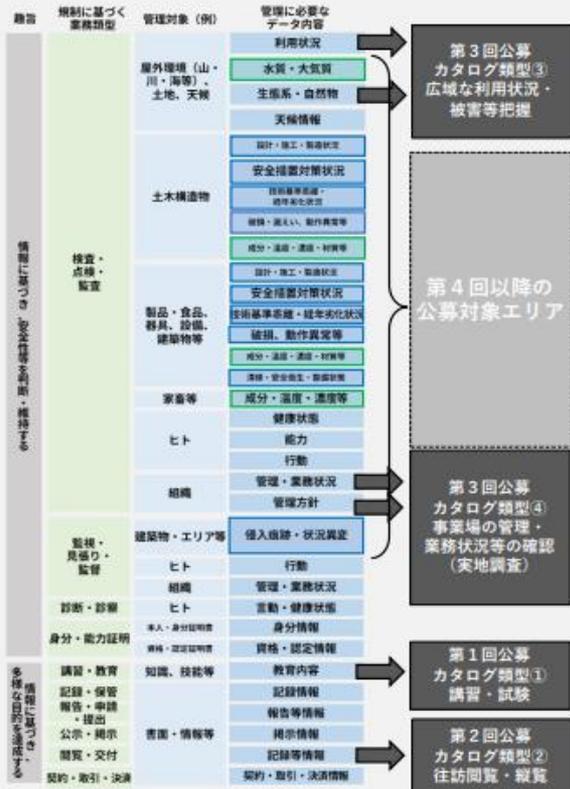
第3回デジタル関係制度改革検討会

「テクノロジーベースの規制改革」 の進捗

2024年1月23日（火） デジタル庁デジタル法制推進担当

第4回以降の技術カタログ公募に向けて

テクノロジーマップ



技術検証を要しない条項を抽出し、類型化・公募テーマ設定

| 管理対象 (例) | 管理に必要なデータ内容 | 公募予定類型 |
|---------------------|---|---|
| 土木構造物 | <ul style="list-style-type: none"> 設計・施工・製造状況 安全措置対策状況 技術基準乖離・経年劣化状況 破損・漏えい、動作異常等 成分・温度・濃度・材質等 | <p>第4回 (12月中めど)</p> <p>カタログ類型⑤: 施工・経年劣化・安全措置対策状況等 確認</p> <p>第5回 (1月中めど)</p> <p>カタログ類型⑦: 測定・分析</p> <p>管理対象物の種類が多く「業務と求められる機能 (応募フォーム)」の整理に時間を要する想定</p> <p>管理対象物の網羅性と粒度感の確認が必要で、「業務と求められる機能 (応募フォーム)」の整理に時間を要する想定</p> |
| 製品・食品・器具・設備・建築物等 | <ul style="list-style-type: none"> 設計・施工・製造状況 安全措置対策状況 技術基準乖離・経年劣化状況 破損・動作異常等 清掃・安全衛生・整備状態 成分・温度・濃度・材質等 | <p>(目視または目視以外の手段への変更) (例: カメラ+AI)</p> |
| 家畜等 | <ul style="list-style-type: none"> 成分・温度・濃度等 | <p>第3回 (公募中)</p> <p>カタログ類型③: 広域な利用状況・被害等把握 (例: ドローン)</p> |
| 屋外環境 (山・川・海等)、土地、天候 | <ul style="list-style-type: none"> 水質・大気質 利用状況 生態系・自然物 | <p>第4回 (12月中めど)</p> <p>カタログ類型⑥: 侵入痕跡・状況異変 (見張り) (例: 巡回ロボット)</p> |
| 建築物・エリア等 | <ul style="list-style-type: none"> 侵入痕跡・状況異変 | <p>第3回 (公募中)</p> <p>カタログ類型④: 事業場の管理・業務状況等の確認 (実地調査) (例: ウェアブルデバイス、リアルタイム通話・映像共有)</p> |
| 組織 | <ul style="list-style-type: none"> 管理・業務状況 管理方針 | <p>第3回 (公募中)</p> <p>カタログ類型④: 事業場の管理・業務状況等の確認 (実地調査) (例: ウェアブルデバイス、リアルタイム通話・映像共有)</p> |
| ヒト | <ul style="list-style-type: none"> 行動 | <p>ヒトの行動の監視・コミュニケーション等 (未確定)</p> |

テクノロジーマップ
(パターン2 簡略版)

| 趣旨 | 規制に基づく 業務類型 | 管理対象 (例) | Input | | | Process | | | Output | | | | | |
|---------------------|----------------|--------------------------|-----------------|-------------------|-----------------|---------|-----------|------|------------|-------------|--------|-------------|-------------|-----------------------|
| | | | データ取得機能 | セキュリティ・ トラスト機能 | データ伝達 機能 | 判断機能 | | | 対応機能 | | | | | |
| | | | | | | 認識機能 | 解析・予測機能 | 自律機能 | | | | | | |
| 情報に基づき、安全性等を判断・維持する | 検査・点検・ 監査 | 屋外環境、 土地、天候 | カメラ、 各種センサ類等 | 無人航空機・ドローン | Bluetooth・無線LAN | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識・物体検出AI | 文章解析AI | 経年劣化・故障予測AI | 自動制御・モニタリング | リアルタイムモニタリング ・緊急通報 |
| | | 土木構造物 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 監視・見張り・ 監督 | 製品・食品、 器具、設備、 建築物等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 家畜等 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 診断・診察 | 人 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 組織 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 身分・能力証明 | 建築物・エリア等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 人 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 講習・教育 | 人 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 記録・保管 | 知識、技能等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 報告・申請・提出 | 書面・情報等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 公示・掲示 | 知識、技能等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 閲覧・交付 | 知識、技能等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |
| 情報に基づき、 な目的を達成する | 契約・取引・決済 | 知識、技能等 | 各種センサ類 | オンライン会議、電子台帳 | ドローン | 衛星通信、5G | クラウドストレージ | OCR | 音声文字 変換 | 物体認識等 | 文章解析AI | 亀裂・異常検出AI | 自動制御 | リアルタイム モニタリング |
| | | 本人・身分証明書 資格・認定証明書 | | | | | | | | | | | | |

「OCR」しか無いので「QRコード」の追加を依頼(兼子)。

デジタル庁_山口 心 2月6日 11:09
社)SCCCリアルタイム経営推進協議会 兼子様

お世話になっております。
デジタル庁デジタル法制推進担当の山口です。
テクノロジーマップの技術ラベルへの技術の追加のご
示唆につきまして、ご連絡いただき有難うございます。
(中略)

「契約・取引・決裁」の関係では、金融商品取引法に
おいて、「目論見書等の交付方法を原則書面交付か
ら原則デジタル交付へ転換して欲しい。」との要望を
いただいております、書面に併せて目論見書等の電子版
へのリンクを**QRコード**で提供することも**一事例となり
得る**と考えております。

テクノロジーマップ (パートナー1 詳細版) 2/5ver.

高度化される機能

| 判断・ 趣旨 対応内容 | 管理対象 (例) | 管理に必要な データ内容 |
|-------------------------|----------------------------|--|
| 情報に基づき、 安全性等を判断・維持する | 自然・環境、 都市の特性性 | 水質・大気質 天候情報 生態系・自然物 |
| | 土地利用 | 土地・施設利用状況 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 人工物、製品、食品、素材等の特性性 | 設計・施工・製造状況 安全措置状況 技術基準乖離・ 経年劣化状況 破損・漏えい、 動作異常等 侵入故障・ 状況異常 |
| | 土木構造物、 建築物、 モビリティ | 成分・温度・ 湿度・材質等 清掃・安全衛生・ 稼働状態 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 生活用品、 食品、 家畜等の生物 | 行動 健康状態 |
| | 人の行為・行動、 身体の状態等 | 本人・身分証明 本人・身分証明書情報 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 本人、身分の証明 (資格情報、受験条件等) | 資格証明書、 判断記録等 |
| | 能力 (資格情報、受験条件等) | 組織情報 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 名称、登録等 | 資格証明書、 判断記録、認定等 |
| | 能力 (資格・認定等) | ルール規程類、 管理体制資料等 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 管理方針 | 業務記録、検査・ 試験記録、財務諸表等 |
| | 管理・業務状況・記録 | 申請・登録・届出内容 教育内容 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 行政手続等・民間サービス・教育に 係る情報伝達 | 氏名、住所、税務申告、 特許・意匠、生産計画等 申請・登録・届出内容 |
| | 知識、技能等 | 通知・報告内容 公的記録・共有内容 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 変更通知、承認通知、 合意通知、請求通知、等 | 契約・取引・ 決済情報等 |
| | 調書、裁判文書、公文書、 統計記録等 | 地域計画・情報 |
| 情報に基づき、 多様な目的を達成する | 契約、取引記録、決済等 | |
| | 都市・地域計画、選挙計画、 自治体管理台帳等 | |

| Input | Process | Output |
|---|--|---|
| 画像等のデータをセキュアに取得し、 遠隔地に提供 | 画像等の取得データの解析、評価等の 判断を自動化・機械化 | 事象対応の 遠隔化、自動化 |
| <p>データ取得機能</p> <p>物理的な情報を計測したデータ</p> <p>人間が入力、またはオンライン上の行動を記録したデータ</p> <p>データ取得機能</p> <p>セキュリティ・トラスト機能</p> <p>データ伝達機能</p> <p>近接通信 (Bluetooth)</p> <p>遠隔通信</p> <p>データ前送</p> | <p>判断機能</p> <p>認識機能</p> <p>解析・予測機能</p> <p>自律機能</p> <p>文字認識</p> <p>音声認識</p> <p>自然言語処理</p> <p>画像認識</p> <p>QRコード</p> | <p>対応機能</p> <p>緊急対応</p> <p>情報通知</p> <p>学習モデル更新</p> <p>制御工学</p> <p>移動機器</p> <p>判断機能</p> <p>自律機能</p> <p>対応機能</p> |

詳細版に「QRコード」が追加された!

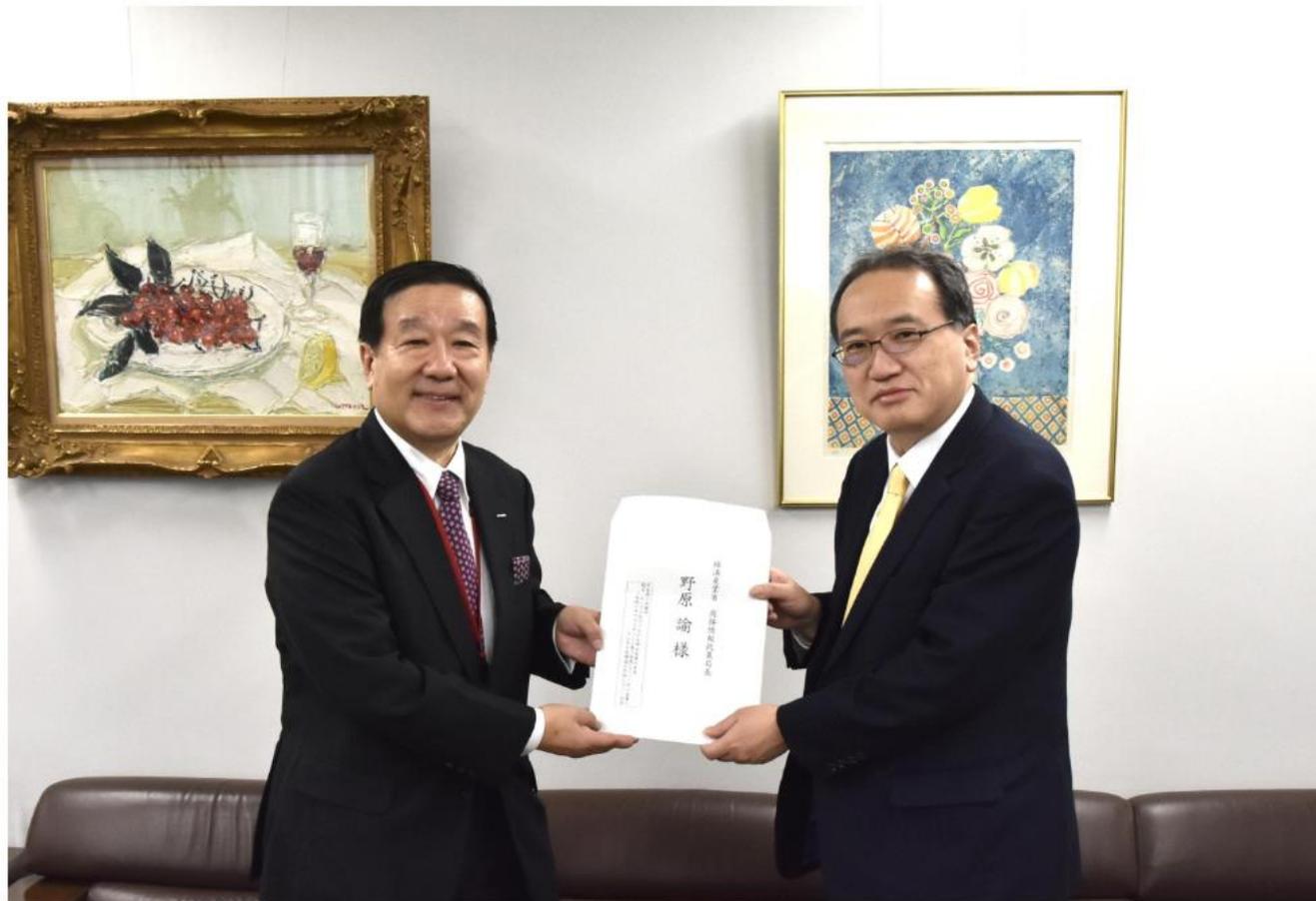
③ 日本商工会議所

「政策提言」

（「QRコード活用の標準化」を提案）

2024年4月18日

日本商工会議所は、今後も中小企業のデジタル化推進に取り組んでまいります。



経済産業省・野原商務情報政策局長（写真：右）に提言を手交する岩本デジタル化推進専門委員長（写真：左）

松島先生の依頼により 「QRコード活用の標準化」を提案(兼子)



デジタル化でつながる中小企業の未来

～地域やサプライチェーン等で連携していく
中小企業のデジタル化推進を目指して～

〔提言〕

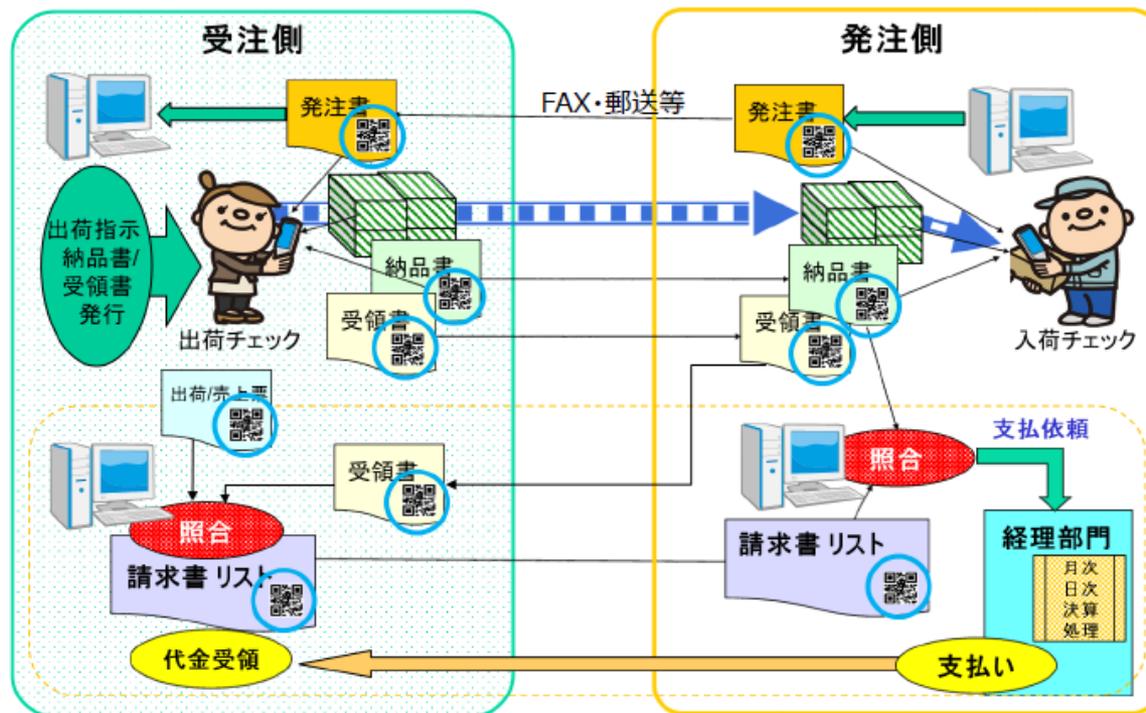
2024年4月18日
日本商工会議所

「QRコード活用の標準化」(フロー・伝票等を提供)

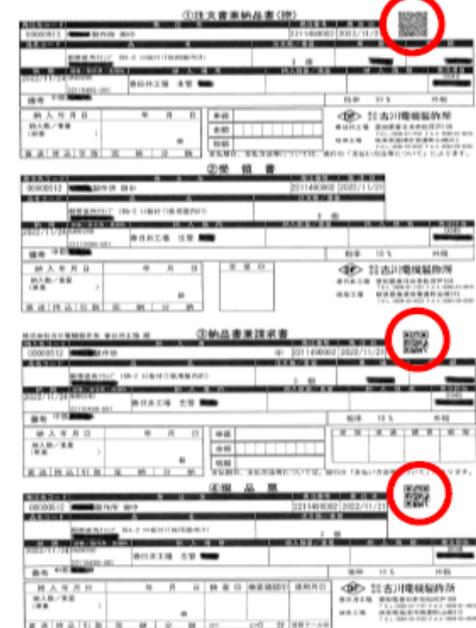
③取引先全体のデジタル化(QRコード活用の標準化等)により恩恵をもたらす「同時性」確保

- 中小企業のデジタル化推進では、社内のデジタル化はもとより、取引先とのやり取り等を「電子データ化」することが重要である。例えば、受発注書の表紙にその書面内容データが格納されている「QRコード」を貼付してFAXや郵送し、取引先企業では電子データで読み取ることで「QRコード活用の標準化」等を進めていくことで、デジタル化の恩恵を「同時に享受できる仕組みづくり」が必要である。
- 取引先全体で進めるには、「地域中核企業」が積極的にリーダーシップを発揮できるような「地域でまとまる仕組みづくり」も重要である。

<イメージ>



QR伝票



[出典]一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会資料

具体的アクション

【国・自治体の取組】取引先全体のデジタル化により恩恵をもたらす「同時性」を確保するため、「QRコード活用の標準化」を施策化するとともに、システム開発や活用促進（無料お試し期間の設定等）に必要な予算措置を講じること。QRコード添付機能が付随された受発注システムを、IT導入補助金の補助対象ツールとして補助率加算など優遇措置を講じること。地域中核企業が地域やサプライチェーン等で積極的にリーダーシップを発揮できる仕組みを構築すること。

【発注元企業やITベンダー等の取組】国・自治体の予算を活用して、QRコード添付機能が付随されたシンプルな受発注システムを開発すること。地域中核企業として地域やサプライチェーン等で積極的にリーダーシップを発揮し、開発したQRコード添付機能付き受発注システムを発注先・顧客へ積極的に周知を図り、導入支援や丁寧なフォローアップを実施すること。

【商工会議所の取組】国・自治体の予算を活用して、商工会議所役員・議員や地元ITベンダー等にQRコード添付機能付き受発注システム開発への協力を求めるとともに、地域やサプライチェーン等での積極的なリーダーシップ発揮を呼び掛けること。会員事業所にはQRコード添付機能付き受発注システムの積極的な導入・活用を呼び掛けること。

【経営者の取組】QRコード添付機能付き受発注システムを企業間取引の標準仕様として積極的に活用してデジタル化を推進すること。

※「QRコード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です

＜今後の進め方＞

他団体に「QRコード伝票の標準化」を要望しても、**費用・時間が掛かる。**

そこで、SCCC協議会が「**SCCC規格（工場・事務所で利用する書類のQRデータ規格）**」作成する。

SCCC規格

工場・事務所で利用する書類
のQRデータ規格

2025年XX月XX日

社)SCCCリアルタイム経営推進協議会



QR発注書



QR納品書



QR受領書



QR請求書



QRXXX書

SDGs経営

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です